

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	建築計画
科目基礎情報						
科目番号	0050		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	浅野平八編著：わかる建築学 1「建築計画」					
担当教員	杉本 弘文					
到達目標						
1) 各種建築の建築計画と基本設計に最低限必要な基本的な事項が説明できること。 2) 建築計画に関する人間および社会のからの要求・計画条件を把握できること。 3) 各種建築の基本的な計画ができること。 4) 各種建築の事例を建築計画的に理解が出来ること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築物の計画・設計に必要な基礎的な知識を有し、各種建築物の計画・設計のポイントを説明できる。		建築物の計画・設計に必要な基礎的な知識をおおよそ理解している。		建築物の計画・設計に必要な最低限の知識を有している。	
評価項目2	建築計画の歴史的背景や社会から建築に求められていることを十分に理解し、新しい建築物を提案できる。		建築計画の歴史的背景や社会から建築に求められていることを理解している。		建築計画の成り立ちをおおよそ理解している。	
評価項目3	各種建築物に求められる空間的相互関係や社会的要求について十分に理解し、建築図面を描くことができる。		各種建築物の計画・設計の要点について理解し、建築図面を描くことができる。		各種建築物の基本的な計画・設計条件について理解し、ある程度建築図面を描くことができる。	
評価項目4	各種建築物の計画・設計の要点を十分に理解し、実在する建築物について他人に理解できるようプレゼンテーションできる。		各種建築物の計画・設計の要点を理解し、実在する建築物について説明できる。		各種建築物の計画・設計の要点をある程度理解し、実在する建築物の特徴を把握できる。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE (d) JABEE B2						
教育方法等						
概要	建築空間の一般的に望ましいあり方と、その設計計画手法及び必要な検討事項を理解する。					
授業の進め方・方法	1) 計画手法と検討事項を抽象的ではなく具体的に説明するために、 P P T や配布資料などによって設計例をできる限り多く紹介するので、各施設計画の総合的な理解を手掛かりに受講者自らが意識的・自発的に建築空間を体験したり、建築家がデザインした設計例を学習すること。 2) 本講義は建築・都市の設計につながる科目である。自らの作品づくり・提案に必要な創造（想像）力や思考力を養う機会とすること。 3) 授業で得る知識は設計競技や資格取得（福祉住環境コーディネーター等）につなげるためのものである。各自が積極的に課外活動に取り組むための機会とすること。					
注意点	授業は建築学科多目的演習室にて行う。 参考資料として、日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」(丸善出版)、初めての建築計画（学芸出版社）を使用すると共に授業内で適宜プリントを配布する					
ポートフォリオ						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明		授業の内容を理解し、学習計画を立てる	
		2週	集会・コミュニティ施設の役割と機能		集会・コミュニティ施設の役割と機能を理解する	
		3週	集会・コミュニティ施設の基本計画		集会・コミュニティ施設の基本計画を理解する	
		4週	集会・コミュニティ施設計画のプロセス		集会・コミュニティ施設の計画プロセスを理解する	
		5週	集会・コミュニティ施設の事例分析		集会・コミュニティ施設の事例を分析し、各事例の特徴を説明できる	
		6週	図書館の定義と目的、機能、基本計画		図書館の定義と目的、機能、基本計画を理解する	
		7週	図書館の各部の計画と出納システム、事例分析		図書館の各部の計画と出納システムを理解する。図書館の事例を分析し、各事例の特徴を説明できる	
		8週	前期中間試験 試験答案の返却及び解説			
	2ndQ	9週	劇場・ホールの種類と機能		劇場・ホールの種類と機能を理解する	
		10週	劇場・ホールの基本計画		劇場・ホールの基本計画を理解する	
		11週	劇場・ホールの舞台・観客席の計画と設計、事例分析		劇場・ホールの舞台・観客席の計画と設計を理解する。劇場・ホールの事例を分析し、各事例の特徴を説明できる	
		12週	宿泊施設の概要（歴史・種類）		宿泊施設の概要（歴史・種類）を理解する	
		13週	宿泊施設の全体計画①（部門・動線計画・構造設備計画・関連法規）		宿泊施設の全体計画①（部門・動線計画・構造設備計画・関連法規）を理解する	
		14週	宿泊施設の全体計画②（部門・動線計画・構造設備計画・関連法規）		宿泊施設の全体計画②（部門・動線計画・構造設備計画・関連法規）を理解する	
		15週	宿泊施設の各部門の計画と設計（客室部門・パブリック部門・管理部門）、事例分析		宿泊施設の各部門の計画と設計（客室部門・パブリック部門・管理部門）を理解する。宿泊施設の事例を分析し、各事例の特徴を説明できる	

		16週	前期末試験 試験答案の返却及び解説	
後期	3rdQ	1週	医療施設の歴史と動向	医療施設の歴史と動向を理解する
		2週	病院建築の概要	病院建築の概要を理解する
		3週	病院建築の全体計画（部門・所要室・ゾーニング・動線計画）	病院建築の全体計画（部門・所要室・ゾーニング・動線計画）を理解する
		4週	病院建築の各部門の計画 病院建築の事例分析	病院建築の各部門の計画を理解する。病院建築の事例を分析し、各事例の特徴を説明できる
		5週	福祉環境整備に関する基礎知識	福祉環境整備に関する基礎知識を理解する
		6週	高齢者・障害者に対する住環境の計画と設計①	高齢者・障害者に対する住環境の計画と設計（ノーマライゼーションに基づく生活・居住環境整備）を理解する
		7週	高齢者・障害者に対する住環境の計画と設計②	高齢者・障害者に対する住環境の計画と設計（グループホーム等の福祉施設の計画の概要）を理解する
		8週	後期中間試験 試験答案の返却及び解説	
	4thQ	9週	事務所建築の歴史	事務所建築の歴史を理解する
		10週	事務所建築の概要	事務所建築の概要を理解する
		11週	事務所建築の基本計画①	事務所建築の基本計画（基準階の設計方法等）を理解する
		12週	事務所建築の基本計画②	事務所建築の基本計画（コアシステムやモジュール割等）を理解する
		13週	事務所建築の各部の計画	事務所建築の各部の計画（オフィスレイアウト等）を理解する
		14週	事務所建築の事例分析	事務所建築の事例を分析し、各事例の特徴を説明できる
		15週	事務所建築の設計手法（演習）	事務所建築の設計手法を演習を通じて理解する
		16週	学年末試験 試験答案の返却及び解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	0	50
専門的能力	40	0	0	0	10	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0